

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興に伴い、ゆるやかな回復の動きがみられましたが、欧州における金融・債務危機、海外経済の減速懸念などにより、依然として景気の先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、以下のとおりとなりました。

「航空関連事業」・「メディア・ライフサービス事業」においては、航空機部品販売や退役航空機の取扱減少などにより、売上高は前年実績を下回りました。一方で、第2四半期における海外連結子会社のたな卸資産の販売などにより、営業利益では前年実績を上回る結果となりました。

「リテール事業」・「フーズ・ビバレッジ事業」においては、空港店舗関連や免税店向け卸売が引き続き好調に推移し、農産関連、ワイン関連、通信販売関連が順調に推移いたしました。一方で、水産関連は引き続き低調に推移したことにより、売上高は概ね前年並みの実績となりました。また、水産関連の低調、贈答用食品関連の費用増や連結子会社における運営費用増などにより、営業利益では前年実績を下回る結果となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は65,887百万円（対前年同期比96.3%）となりました。損益面では、営業利益1,168百万円（対前年同期比82.8%）、経常利益1,138百万円（対前年同期比77.5%）、四半期純利益667百万円（対前年同期比95.4%）となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成23年4～12月)	当第3四半期 (平成24年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	68,410	65,887	96.3	△2,522
営業利益	1,411	1,168	82.8	△243
経常利益	1,468	1,138	77.5	△329
四半期純利益	699	667	95.4	△32

[セグメント別の概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。なお、各業績数値は、グループ内セグメント間売上高および振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用など）調整前の金額です。

① 航空関連事業

航空機関連では、乗員訓練用機材を販売いたしました。航空機部品販売や退役航空機の取扱は低調に推移しました。機材・調達関連では、空港向け機材販売、物流関連業務は順調に推移しましたが、空港特殊車両の販売は低調に推移しました。一方で、第2四半期における海外連結子会社のたな卸資産の販売などにより、利益は増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高13,360百万円、営業利益739百万円と、それぞれ減収・増益となりました。

航空関連事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成23年4～12月)	当第3四半期 (平成24年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	16,082	13,360	83.1	△2,721
営業利益	608	739	121.6	131

② メディア・ライフサービス事業

保険関連では、*保険代理店BPO業務は拡大しましたが、法人向けの販売は低調に推移しました。また、メディア関連では、用紙販売および関西地区における制作業務は堅調に推移しましたが、印刷物などの販売は低調に推移しました。一方で、不動産関連では、開発分譲業務などにより好調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高8,138百万円、営業利益823百万円と、それぞれ増収・減益となりました。

*保険代理店BPO(Business Process Outsourcing)業務：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

メディア・ ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成23年4～12月)	当第3四半期 (平成24年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	8,016	8,138	101.5	122
営業利益	886	823	92.8	△63

③ リテール事業

空港店舗関連では、旅客需要回復などにより引き続き好調に推移しました。ブランド・免税関連では、機内販売および免税店向け卸売がともに堅調に推移しました。通信販売関連では、インターネットサイトでの販売伸長などにより売上高は順調に推移するとともに、費用減により利益は増加しました。一方で、贈答用食品関連では、売上高は概ね前年並みに推移しましたが、費用増などにより利益は低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高34,458百万円、営業利益1,014百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成23年4～12月)	当第3四半期 (平成24年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	31,884	34,458	108.1	2,574
営業利益	710	1,014	142.8	304

④ フーズ・ビバレッジ事業

農産関連では、主力となるパプリカなどの西洋野菜やキク・バラなどの輸入生花の販売は順調に推移しました。ワイン関連では、ホテル・レストラン向け業務用卸売が順調に推移しました。一方で、水産関連では、市場環境の変化、原料の減少などにより引き続き低調に推移しました。また、連結子会社の日本エアポートデリカ株式会社は、第2四半期以降の取引拡大により売上は伸長しましたが、運営費用増などにより利益は低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高10,468百万円、営業利益50百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成23年4～12月)	当第3四半期 (平成24年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	12,828	10,468	81.6	△2,360
営業利益	702	50	7.2	△652

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

売上債権は、年末商戦需要による百貨店向け歳暮用食品の卸売や通信販売等により増加しました。また、固定資産は、賃貸用土地の購入により増加しました。一方で、たな卸資産は、日本航空株式会社向けの旧訓練所関連施設・設備の売却、及び国内の販売用不動産の売却により減少し、現預金は固定資産代金の支払いや借入金の返済により減少しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して991百万円減少し、32,711百万円になりました。

(負債)

年末商戦向けの仕入れにより買掛金が増加し、一方、返済により借入金が減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して1,129百万円減少し、18,197百万円になりました。

(純資産)

剰余金の配当を行いました。四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、少数株主持分は減少しました。その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して137百万円増加し、14,513百万円になりました。また、自己資本比率は2.5ポイント増加し、41.4%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月27日公表の通期業績予想を据え置いています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,391,474	4,412,458
受取手形及び売掛金	9,615,259	9,709,340
たな卸資産	5,919,467	5,096,442
その他	3,148,931	3,687,302
貸倒引当金	△68,984	△84,133
流動資産合計	24,006,148	22,821,410
固定資産		
有形固定資産	5,118,360	5,444,674
無形固定資産	405,358	335,164
投資その他の資産	4,091,363	4,040,770
固定資産合計	9,615,082	9,820,610
繰延資産	81,698	69,059
資産合計	33,702,929	32,711,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,572,728	9,143,682
短期借入金	3,025,994	2,310,816
未払法人税等	286,390	427,296
未払費用	1,796,380	2,025,617
その他	3,045,764	2,264,975
流動負債合計	16,727,258	16,172,389
固定負債		
長期借入金	1,202,029	663,356
退職給付引当金	411,248	505,741
役員退職慰労引当金	33,225	8,600
その他	953,363	847,453
固定負債合計	2,599,866	2,025,151
負債合計	19,327,125	18,197,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	711,250	711,250
利益剰余金	10,811,239	11,287,581
自己株式	△68,191	△147,089
株主資本合計	14,012,848	14,410,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,685	△7,996
繰延ヘッジ損益	27,730	42,196
為替換算調整勘定	△919,112	△912,082
その他の包括利益累計額合計	△899,067	△877,882
新株予約権	9,882	9,882
少数株主持分	1,252,141	971,248
純資産合計	14,375,804	14,513,540
負債純資産合計	33,702,929	32,711,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	68,410,405	65,887,727
売上原価	54,069,662	51,381,514
売上総利益	14,340,742	14,506,212
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	958,981	1,070,240
給料及び手当	4,383,993	4,458,883
退職給付費用	357,156	340,275
減価償却費	450,251	322,816
賃借料	2,384,299	2,589,857
役員退職慰労引当金繰入額	3,710	△3,365
その他	4,390,905	4,559,145
販売費及び一般管理費合計	12,929,297	13,337,853
営業利益	1,411,445	1,168,359
営業外収益		
受取利息	7,905	7,927
受取配当金	4,674	20,687
持分法による投資利益	—	89,626
為替差益	159,405	—
仲介手数料	27,922	—
その他	50,504	42,593
営業外収益合計	250,412	160,833
営業外費用		
支払利息	88,675	35,814
持分法による投資損失	48,820	—
為替差損	—	100,073
支払手数料	41,840	39,132
その他	13,600	15,242
営業外費用合計	192,938	190,263
経常利益	1,468,919	1,138,929
特別利益		
固定資産売却益	2,141	1,608
その他	10	—
特別利益合計	2,152	1,608
特別損失		
固定資産処分損	46,002	31,273
投資有価証券売却損	42,073	481
投資有価証券評価損	12,157	—
特別退職金	88,886	—
その他	5,239	3,756
特別損失合計	194,359	35,511
税金等調整前四半期純利益	1,276,713	1,105,025
法人税等	546,731	660,924
少数株主損益調整前四半期純利益	729,981	444,101
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30,525	△223,167
四半期純利益	699,456	667,269

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	729,981	444,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,104	2,467
繰延ヘッジ損益	△30,206	14,466
為替換算調整勘定	△122,131	8,130
持分法適用会社に対する持分相当額	3,113	△2,357
その他の包括利益合計	△143,119	22,707
四半期包括利益	586,861	466,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	557,077	688,454
少数株主に係る四半期包括利益	29,784	△221,644

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,078,604	7,862,508	31,861,492	12,607,799	68,410,405	—	68,410,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,089	153,755	22,556	220,488	400,889	△400,889	—
計	16,082,693	8,016,263	31,884,049	12,828,288	68,811,295	△400,889	68,410,405
セグメント利益	608,013	886,824	710,373	702,714	2,907,926	△1,496,480	1,411,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,496,480千円には、セグメント間取引消去△584千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,495,896千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,259,767	8,023,766	34,446,158	10,158,033	65,887,727	—	65,887,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101,161	114,918	12,387	310,057	538,525	△538,525	—
計	13,360,929	8,138,685	34,458,546	10,468,091	66,426,252	△538,525	65,887,727
セグメント利益	739,108	823,386	1,014,714	50,568	2,627,779	△1,459,420	1,168,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,459,420千円には、セグメント間取引消去1,730千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,461,150千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。